

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 西白井教室

保護者等数(児童数) 14 回収数 8 割合 57%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------|---|----|---------------|-----|-----------|--------------------------------------|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 4件 | 1件 | 件 | 3件 | | |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 3件 | 件 | 件 | 5件 | 体制についてはわからない。 | ご契約時の説明だけでなく随時面談の期間や、見学週間を設け、皆様に安心していただけるよう努めていきます。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 4件 | 件 | 件 | 4件 | 活動している様子や、教室を長い時間見学したことがないのでわからないです。 | 感染症も落ちついてきていることから、対策をしていながら随時見学していただけるように、見学週間等を設けていきたいと思えます。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 5件 | 件 | 件 | 3件 | 最初の見学時にしかみていないのでわかりません。 | お子様の様子や、教室の様子、指導方法等随時ご見学いただけるように期間を設けていきます。 |
| 適切な支援の提供 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 8件 | 件 | 件 | 件 | | |
| | 6 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 7件 | 件 | 件 | 1件 | | |
| | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 6件 | 2件 | 件 | 件 | | |
| | 8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 8件 | 件 | 件 | 件 | | 日々、指導員と話し合い、いろいろな経験、体験ができるようプログラム構成をしています。 |
| | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1件 | 1件 | 件 | 6件 | | |
| 保護者への説明等 | 10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 8件 | 件 | 件 | 件 | | |
| | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 7件 | 1件 | 件 | 1件 | | |
| | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか | 3件 | 件 | 件 | 5件 | | |
| | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか | 6件 | 2件 | 件 | 1件 | | |
| | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 5件 | 2件 | 件 | 1件 | | 個別支援計画の更新のみならず、随時面談を行い、ご不安を取り除けるよう努めています。 |
| | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 4件 | 1件 | 件 | 3件 | 最近、保護者交流イベントがあるが、参加できていない。 | 保護者様交流イベントが年2回ありますが、たくさんの方にご参加いただけるようイベントの回数を増やしていきたいと思えます。 |
| | 16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 6件 | 件 | 件 | 2件 | | |
| | 17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 8件 | 件 | 件 | 件 | | |
| | 18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 8件 | 件 | 件 | 件 | | 年に一度、本部HPにて公開しています。アンケート配布時にお伝えしておりますが周知されていない部分もあるかとおもいますので積極的に発信していきます。 |
| 非常時等の対応 | 19 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 7件 | 件 | 件 | 1件 | | |
| | 20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 7件 | 件 | 件 | 1件 | | ご契約時にお知らせをお渡ししていますが、年に一度はかならず配布することや、引き渡し訓練等も取り入れてまいります。 |
| 満足度 | 21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 5件 | 件 | 件 | 3件 | | |
| | 22 子どもは通所を楽しみにしているか | 7件 | 件 | 件 | 1件 | | |
| | 23 事業所の支援に満足しているか | 8件 | 件 | 件 | 件 | 先生たちの笑顔と見ると安心します。 | 大変うれしいお言葉ありがとうございます。保護者様の協力あってこそですので今後も安心していただけるように努めてまいります。 |

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 1月 20日

事業所名 西白井教室

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|---|----|------------------------------|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7件 | 件 | | |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 6件 | 1件 | | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 5件 | 2件 | 手すり等つけて工夫しています。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 7件 | 件 | | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 7件 | 件 | 新しく始まったことなどもあり今後も改善は必要ではあるが、職員全体で業務について考える機会が以前よりも増えた。 | |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6件 | 件 | | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 4件 | 1件 | | |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2件 | 件 | | |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 7件 | 件 | | 新規職員の研修だけでなく、既存職員の意識向上、支援の幅を広げているよう研修回数を増やしたいと思います。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 6件 | 件 | | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5件 | 2件 | | アセスメントツールがあるのか共有されていない部分もある。ツールを活用し、全体で取り組んでいきます。 |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 4件 | 1件 | | |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 7件 | 件 | | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6件 | 1件 | チームではないが、複数の職員で立案しています。 | 引き続きさまざまな体験ができるようプログラム構成を行います。 |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6件 | 件 | | |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 7件 | 件 | | |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6件 | 件 | 始まる前に今日の流れや活動について話し合いを行っています。 | |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 7件 | 件 | | |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6件 | 件 | 個々のお子様の様子や変化などを記録を取り、よりよい支援が提供できるよう取り組んでいます。 | |
| 関係機関や保護 | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 6件 | 件 | | |
| | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6件 | 1件 | | 現場のスタッフが担当者会議にもっと参加していきたいと思った。管理者、児童発達支援のみならず現場スタッフにも同行していただき様々な視点からご本人の支援に携われるよう取り組んでまいります。 |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 4件 | 1件 | | |
| | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 2件 | 2件 | | |
| | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 2件 | 2件 | | |
| 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 2件 | 3件 | 保育園や幼稚園と連携をとれるしくみを作りたいと思います。 | 市で行っている情報共有ツールを活用していきながら、各関係機関と連携を強化していけるように関わっていきたく思います。 | |

| | | | | | | |
|------------|----|--|----|----|--|---|
| 保護者との連携 | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 1件 | 3件 | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 2件 | 2件 | | 法人内事業所だけでなく地域の事業所さんとのつながりを大切にしながら、発達センターさんからアドバイスをいただけるよう、取り組んでまいります。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 2件 | 3件 | | 交流の機会を増やしていけるように、まずは地域の児童センターや、地域で開催されるお祭りなどにも足を運びたいと思います。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 件 | 4件 | | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6件 | 件 | | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 件 | 3件 | | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 4件 | 1件 | | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 6件 | 件 | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 7件 | 件 | | 個別支援計画の更新だけでなく随時、保護者様のお悩みをお聞きし、支援を行っています。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 1件 | 3件 | | 保護者様交流イベントを企画し年2回開催しました。また、今後は回数を増やし行くことを決め、3月にも行います。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 6件 | 件 | | |
| 非常時等の対応 | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7件 | 件 | | 毎月こぼんだよりを配布し、各フロアの出来事やお知らせたい事を記載しています。楽しくご覧いただけるような工夫をしていきたいと思っています。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 7件 | 件 | | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7件 | 件 | | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1件 | 2件 | | |
| | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 7件 | 1件 | | 訓練は実施していますが、利用者さん、職員ともわかりやすいマニュアルを作成していきたい。 |
| 非常時等の対応 | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 7件 | 件 | | 緊急時の対応について話し合いを行い、フローチャートの見直しを行いました。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している | 7件 | 件 | | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 4件 | 件 | | アレルギーのあるお子様の対応について職員のわかりやすいところに掲示しています。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7件 | 1件 | | ヒヤリの共有がされていない部分があるので、記入したこと、改善方法など職員間で話し合いをし共有していきます。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7件 | 件 | | 半年に1回研修を行っています。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 5件 | 件 | | 対象のお子様は現在おりませんが、事業所全体で身体拘束について随時話し合いを行っています。 |